

コーンオーバルマフラー 取扱説明書

(政府認証)

製品番号 04-02-0340

適応車種及び型式	PCX 型式:2BJ-JK05 (JK05-1000001 ~ 1099999)
	PXC160 型式:2BK-KF47 (KF47-1000001 ~ 1099999)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

このマフラーはキャタライザーを内蔵し、アイドリング排出ガス規制及び加速騒音認証制度を取得している為、一般公道でご使用頂けます。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎指定部品以外との組み合わせはご遠慮下さい。

◎走行中のバンク角には、十分注意して走行して下さい。

◎このマフラーは上記適応型式の車種専用です。

◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

◎サイレンサーの使用状況により、焼け色が付く可能性があります。

◎このマフラーはノーマル車両（メーカー出荷状態）で加速騒音認証制度を取得しております。

エンジンパーツ及び駆動系の変更車両等の法規適合証明の出来ない車両に取り付け一般公道は走行出来ません。

◎当マフラーは上記記載適応型式車両のみです。異なる型式のPCX/PCX150には取り付け出来ません。

～特徴～

○エキゾーストパイプはステンレス材を使用し、耐食性、耐久性を向上させ、表面にはバフ研磨を施し、輝きを持たせております。

○サイレンサーの形状をオーバルとし、個性的なコーン形状のサイレンサーエンドキャップを採用しており、車両のカスタムイメージを高めます。

○経年変化が起こりにくいサイレンサー構造で高性能を実現しています。

○サイレンサーステーはアルミ合金を削り出し加工にて製作しており、独特な形状にアレンジしております。又表面にはシックな色合いのアルマイト処理を行い、耐食性を向上させております。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■このマフラーは、進行方向に向かって右側に配置しています。エンジン回転中は不用意に足などをマフラー方向に近づけない様心掛けて下さい。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。(火傷の原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時（マフラーが冷えている時）に行ってください。(マフラーのヒビ割れの原因となります。)

■車両を駐車させる場合は、歩行者等がマフラーに接触しない様、駐車させる事を心掛けて下さい。

(歩行者等がマフラーに接触し火傷又は物的損害を被る可能性があり、又、車イスの人が通れなくなる場合があります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

■加速走行騒音認証制度は、車両がメーカー出荷時の状態で認証を取得しております。エンジンパーツ交換及び改造している車両又は、適応外車両に取り付け一般公道で使用しないで下さい。(法規適合証明の出来ない車両に取り付けた場合、違法マフラーとみなされ、運転者が罰せられます。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■エンジン回転中は、マフラー出口を絶対のぞかないで下さい。(一酸化炭素中毒、失明等につながる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■走行前に、必ずバンク角のチェックを行い、そのバンク角以上にバンクさせない様な、走行を心掛けて下さい。(転倒につながる恐れがあります。)

■エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかったら、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

製品内容



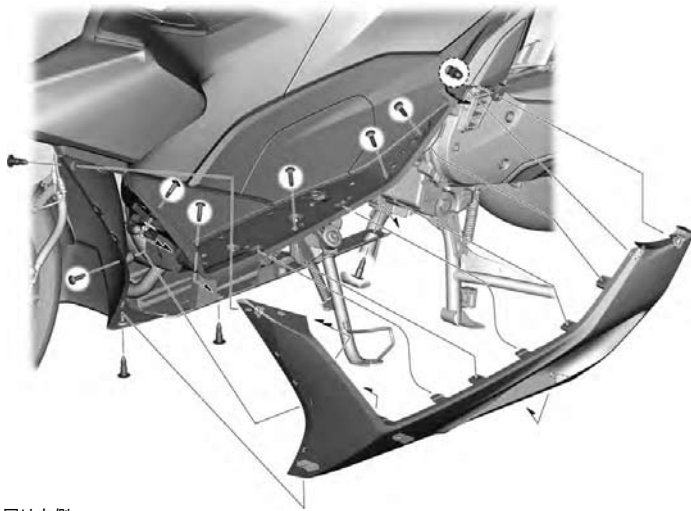
番号	部品名	個数	リペア品番
1	サイレンサー ASSY.	1	_____
2	パイプ COMP.	1	_____
3	ステー	1	_____
4	カラー	1	00-04-0185
5	カラー 2	1	00-04-0186
6	カラー, ボルト	3	00-04-0155 (2ヶ入り)
7	サイレンサーバンド	2	00-04-0036 (2ヶ入り)
8	サイレンサーバンドラバー	2	00-04-0044 (2ヶ入り)
9	バンド (44-47mm)	1	00-04-0136
10	ソケットキャップスクリュー 10x25	1	00-00-0350 (2ヶ入り)
11	ソケットキャップスクリュー 10x45	1	00-00-0820 (2ヶ入り)
12	ソケットキャップスクリュー 10x70	1	00-00-0920
13	ソケットキャップスクリュー 10x30	1	00-00-0625 (2ヶ入り)
14	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064 (2ヶ入り)
15	プレーンワッシャ 10mm	2	00-00-0151 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合は
セット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

ノーマルマフラー取り外し

○サービスマニュアルを参照し、右側フローサイドカバーを取り外します。
※フローサイドカバーを取り外す事により作業性を向上出来ます。



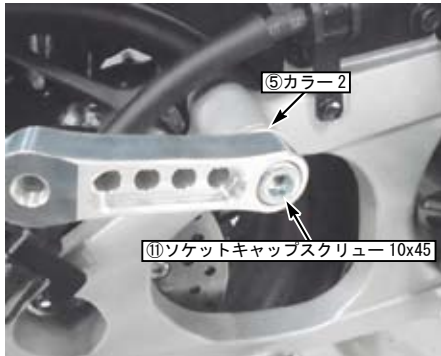
図は左側

○O₂センサーのカブラの接続を外し、ジョイントナット、マウントボルト
3本を外し、ノーマルマフラー、古いエキゾーストパイプガスケットを
取り外します。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○ノーマルマフラーが取り付けられていたスイングアーム前方上側のタップ部に、⑤カラー2を③ステーとの間に挟み、⑪ソケットキャップスクリュー 10x45 を用いて取り付け仮締めします。



○取り外したノーマルマフラーから O₂ センサーを取り外します。
特殊工具の使用を推奨します。
弊社製センサーソケット 品番 : 08-02-0036

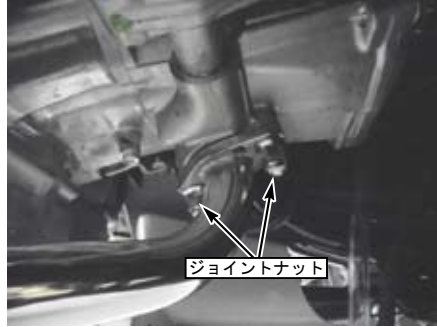


○ノーマルマフラーから取り外した O₂ センサーを②パイプ COMP. センサーボス部に取り付け締め付けます。
特殊工具の使用を推奨します。
弊社製センサーソケット 品番 : 08-02-0036
※ネジ部に焼き付き防止剤の塗布をお勧めします。
弊社製焼き付き防止剤 品番 : 08-02-0042

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
O₂ センサー
トルク : 24.5N・m (2.5kgf・m)



○⑭エキゾーストパイプガasketを②パイプ COMP. に取り付け、ジョイントナットを用いて車両に取り付け仮締めします。
※ネジ部に焼き付き防止剤の塗布をお勧めします。
弊社製焼き付き防止剤 品番 : 08-02-0042



○①サイレンサー ASSY. のジョイント部に⑨バンド (44-47mm) を取り付けます。



○②パイプ COMP. の差し込み部分に耐熱ガスケット剤を薄く塗布します。
推奨耐熱液体ガスケット剤
スリーボンド : 1207B 相当品
ロックタイト : 5699 相当品



○②パイプ COMP. に①サイレンサー ASSY. を差し込み取り付けます。



○⑦サイレンサーバンドに⑧サイレンサーバンドラバーをセットします。



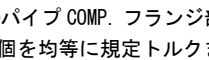
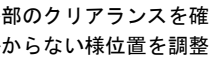
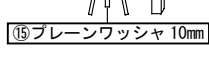
○①サイレンサー ASSY. に⑦サイレンサーバンドを両サイドから挟む様に取り付け、上部を③ステーのタップに⑩ソケットキャップスクリュー 10x25、⑥カラー、ボルトを用いて取り付け、下部はスイングアーム後方のタップ部に⑫ソケットキャップスクリュー 10x70、④カラー、⑥カラー、ボルトを用いて取り付け仮締めします。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- ⑦サイレンサーバンドの成型个体差により、⑦サイレンサーバンドを締め付けた時に必要以上に応力が掛かっていると感じた場合、⑮プレーンワッシャ 10mm を⑦サイレンサーバンドの上下間に挟み、調整して取り付けして下さい。

⑮プレーンワッシャ 10mm



- 各部のクリアランスを確認し、無理な力が掛からない様位置を調整します。
- ②パイプ COMP. フランジ部のジョイントナット 2個を均等に規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ジョイントナット
トルク：29N・m (3.0kgf・m)



ジョイントナット

- ③ステーの前方の⑩ソケットキャップスクリュー 10x45 を締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 10x45
トルク：49N・m (5.0kgf・m)



⑩ソケットキャップスクリュー 10x45

- ⑦サイレンサーバンド部の上下の⑩ソケットキャップスクリュー 10x25、⑫ソケットキャップスクリュー 10x70 を規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 10x25
トルク：39N・m (4.0kgf・m)
ソケットキャップスクリュー 10x70
トルク：49N・m (5.0kgf・m)



⑩ソケットキャップスクリュー 10x25



⑫ソケットキャップスクリュー 10x70

- ①サイレンサー ASSY. ジョイント部の⑨バンド (44-47mm) を締め付けます。
- ※ネジ部に焼き付き防止剤の塗布をお勧めします。
弊社製焼き付き防止剤 品番：08-02-0042

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンド (44-47mm)
トルク：15N・m (1.5kgf・m)



- O₂ センサーのカプラを接続します。

- 当マフラー装着には使用しなくなったノーマルマフラーが取り付けられていたスイングアーム下側のタップ部 1カ所に⑥カラー、ボルト、⑬ソケットキャップスクリュー 10x30 を取り付け締め付けます。
(使用しないタップ部を隠す為の飾りボルトです。特に取り付けを行わなくても、使用上支障ありません。)

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 10x30
トルク：29N・m (3.0kgf・m)



⑬ソケットキャップスクリュー 10x30

- サービスマニュアルを参照し、取り外した右側のフロアサイドカバーを取り付けます。
- マフラーに付着した汚れを良く拭き取り、サイレンサーのネームプレート及び認証プレートの保護フィルムを剥がします。



- エンジンを始動させ、排気漏れの有無を確認します。

▲警告：必ず換気のよい場所で行う事。

- 各部をもう 1 度規定トルクで増し締めします。

▲注意：必ず冷間時に行う事。
▲注意：必ず規定トルクを守る事。